

京都大学防災研究所 平成30年度 共同研究報告

平成8年度より、全国共同利用研究所として共同研究を実施している。平成22年度からは「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として新たな枠組みで共同研究課題の募集を行った。応募があった研究課題は、共同利用・共同研究拠点委員会で公正な審査のうえ採択が決定される。平成30年度の各種目についての応募件数、採択件数及び共同研究費は次の表のとおりである。

	応募 件数	採択 件数	共同研究費 合計 (千円)
一般共同研究（継続課題）	-	9	10,667
一般共同研究（平成30-令和元年度）	29	10	11,776
国際共同研究（継続課題）	-	4	5,394
国際共同研究（平成30-令和元年度）	8	4	7,015
一般研究集会	15	10	6,340
長期滞在型共同研究	13	4	4,002
短期滞在型共同研究	4	3	710
地域防災実践型共同研究（一般）（継続課題）	-	1	1,090
地域防災実践型共同研究（一般）（平成30-令和元年度）	2	2	2,640
地域防災実践型共同研究（特定）	2	1	3,750
萌芽的共同研究	11	5	1,322
重点推進型共同研究	2	2	3,150
拠点研究（一般推進研究）	6	5	12,729
拠点研究（特別推進研究）	1	1	5,362
特定研究集会	4	4	2,328

以下の報告は、平成30年度に実施された一般共同研究19件、国際共同研究8件、一般研究集会10件、長期滞在型共同研究4件、短期滞在型共同研究3件、地域防災実践型共同研究4件、萌芽的共同研究5件、重点推進型共同研究2件、拠点研究6件、特定研究集会4件の報告である。一般共同研究及び萌芽的共同研究の参加者は169名、国際共同研究の参加者は56名、一般研究集会の参加者は905名、長期・短期滞在型共同研究の参加者は27名、地域防災実践型共同研究の参加者は43名、重点推進型共同研究の参加者は52名、拠点研究の参加者は91名、特定研究集会の参加者は530名である。また、これらの共同研究等の採択課題名は、防災研究所要覧に掲載された。

本研究所では、施設・設備のいくつかを所外研究者の利用に供している。それらの利用状況を本報告書の終わりに掲載した。